

平成23年度 国保日高総合病院経営改革プラン点検・評価について

1. 総論

平成22年度決算については、当初作成した改革プランより若干下回った。また、平成23年度収支計画については、看護師不足に伴う平成23年4月からの入院制限により当初作成した改革プランより悪化したが、労働環境の改善など待遇の改善に努め、引き続き看護師確保に積極的に取り組み、今後もこの改革プランを着実に実行していくために材料費・薬品費等を中心に費用の削減、患者数の増及び看護師確保による料金収入の改善に努め健全経営に向けより一層努力していくことが重要である。

2. 改革プラン進捗状況

国保日高総合病院経営改革プラン平成22年度実績調書

病院事業会計名 国保日高総合病院

(単位：百万円、%)

項 目	平成20年度策定 改革プラン	平成22年度実績	平成22年度実績が計画より後退した理由	
医業収益	5,089	5,112		
経常収益A	5,634	5,683		
医業費用	5,293	5,397		
うち職員給与費	2,843	2,873	臨床工学技士・理学療法士等を新たに採用した為	
経常費用B	5,553	5,653		
経常損益(A-B)	81	30		
不良債務解消年度	-	-		
単年度資金収支黒字化年度	平成21年度	平成21年度		
単年度資金収支額	86	148		
地財法施行令第19条第1項によ 算定した資金の不足額解消年度	-	-		
地方財政法施行令第19条第1項 より算定した資金の不足額				
地財法による資金不足比率				
経常収支比率	101.5	100.5		
職員給与費比率	55.9	56.2	臨床工学技士・理学療法士等を新たに採用し、 給与費が増加した為	
病床利用率	82.0	80.3		
一般会計から の繰入金	収益的収支	518	537	
	資本的収支	170	194	
	合計	688	731	

平成22年度実績数値

国保日高総合病院経営改革プラン平成23年度見込調書

病院事業会計名 国保日高総合病院

(単位：百万円、%)

項目	平成20年度策定 改革プラン (平成23年度分)	平成23年度見込	計画と見込の乖離がある場合の理由	
医業収益	5,095	4,544	平成23年4月より入院制限を実施しており、具体的には一般病棟300床の20%、60床を休床している。その為、前年度と比べ月額約5,000万円の収入減少となっている為	
経常収益A	5,631	5,117	上記と同じ	
医業費用	5,272	5,148		
うち職員給与費	2,849	2,839		
経常費用B	5,564	5,332		
経常損益 (A-B)	67	-215	経常収益が上記の理由により減少となっている為	
不良債務解消年度	-	-		
単年度資金収支黒字化年度	平成21年度	平成21年度		
単年度資金収支額	7	-542	前年度の流動資産増加の為	
地財法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額解消年度	-	-		
地方財政法施行令第19条第1項より算定した資金の不足額				
地財法による資金不足比率				
経常収支比率	101.2	96.0	入院制限により経常収益が減少している為	
職員給与費比率	55.9	62.5	入院制限により医業収益が減少している為	
病床利用率	83.0	68.2	平成23年4月より入院制限を実施しており、一般病棟300床の20%、60床を休床している為	
一般会計からの繰入金	収益的収支	509	537	
	資本的収支	170	194	
	合計	679	731	

平成24年3月現在